

農林海洋科学部 アドミッション・ポリシー

農林海洋科学部は、「幅広い教養及び農学・海洋科学分野に関連する自然科学や社会科学についての専門能力を統合的に身につけ、汎用的能力を持って、人と環境が調和のとれた共生関係を保ちながら持続可能な社会の構築を志向する人材」を養成します。

本学部では、このような人材養成の基盤となる、以下の能力・態度を有する者を求めます。

知識・技能

1. 農学、海洋科学に関連するそれぞれの専門知識を修得するために必要となる、高等学校で履修する各教科の基礎的事項を理解している。

思考力・判断力・表現力

1. 物事を客観的にとらえることができる。
2. 得られた知識やデータに基づいて科学的・論理的に判断することができる。
3. 言語や数式を使って、自らの思考を適切に表現する基礎が身についている。

主体性・多様性・協働性（※主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）

1. 理科に関連する学問や研究に強い関心を持ち、主体的かつ真摯に学ぶことができる。
2. 豊かな感性、高い倫理観、協調性を備え、真摯に学ぶことができる。
3. さまざまな分野に興味を持つ多様な人々と、科学的な視点から意見交換ができる。
4. チームの一員として主体的・積極的に活動する意欲がある。

関心・意欲・態度

1. 農学、海洋科学に関連するそれぞれの分野に関心を持ち、それらの分野について意欲的・積極的に学ぶ熱意がある。
2. 社会に役立つ研究・開発を行う意欲がある。

学部共通のアドミッション・ポリシーに加えて、学科個々のアドミッション・ポリシーを以下に示します。

■農林資源環境科学科

農林資源環境科学科は、「農業、林業、生産環境及び自然環境に関連する専門的知識、技術及び研究能力を有し、地域の課題を積極的に解決できる人材」を養成します。

本学科では、このような人材養成の基盤となる、以下の能力・態度を有する者を求めます。

知識・技能

1. 農業及び林業の生産環境及びその利用とそれらに関係する自然環境に関連する専門的知識を理解するにあたって必要となる高等学校までの各教科の基礎知識・技能を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 物事を客観的にとらえることができる。
2. 得られた知識及びデータに基づいて科学的・合理的思考ができる。
3. 正しい日本語及び英語を用いて表現することができる。

主体性・多様性・協働性（※主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）

1. 異分野を含むさまざまな人と、農林資源環境科学分野に関連した意見交換ができる。
2. 農業及び林業の生産環境及びその利用とそれらに関する自然環境の知識及び最新成果について強い関心と意欲を持ち、主体的に学ぶことができる。
3. チームの一員として主体的・積極的に活動する意欲がある。
4. 豊かな感性、高い倫理観、協調性を備え、真摯に学ぶことができる。

関心・意欲

1. 技術者・研究者として備えるべき責任と役割を自覚し、農林資源環境科学の素養を身につけた常識ある社会人として社会に貢献する熱意がある。
2. 地域の課題を率先的に学び、解決に導く意欲がある。

■農芸化学科

農芸化学科は、「化学的視点から生物生産を幅広く探求でき、その成果を地域社会への貢献に結びつけられる人材」を養成します。

本学科では、このような人材養成の基盤となる、以下の能力・態度を有する者を求めます。

知識・技能

1. 農芸化学分野の高度な専門知識を修得するために必要となる高等学校の教科学習、特に理科に関する基礎的な知識を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 生命現象や食料生産の場を取り巻く生態系を化学的に観察し考察できる。
2. 言語や数式を使って、自らの思考を適切に表現する基礎が身についている。

主体性・多様性・協働性（※主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）

1. 理科、特に化学や生物に関連する学問や研究に強い関心を持ち、主体的かつ真摯に学ぶことができる。
2. さまざまな分野に興味を持つ多様な人々と、理科、特に化学や生物に関する意見交換ができる。
3. チームの一員として主体的・積極的に活動する意欲がある。

関心・意欲

1. 生命現象を遺伝子・タンパク質・生理活性物質など目に見えない分子レベルで解明し、我々の生活に役立つ技術開発を行う意欲がある。

2. 食料生産の場を取り巻く生態系に興味を持ち、土壌・動物・植物・微生物が果たす役割について理解し、生活環境の改善に役立てる意欲がある。
3. 健康増進作用など食品が持つ多様な機能について学ぶ意欲がある。
4. 生命現象、生物が生産する物質、食と健康、多様な生態系などを化学の視点から理解し、それらを利用して地域社会に役立つ研究・開発を行う意欲がある。

■海洋資源科学科

海洋資源科学科は、「“海洋資源”をキーワードとし分野間での相互交流を促進し、生物学、化学、地学、物理学の分野から多面的に『海洋資源』をみることができる広い視野を持った人材」を養成します。

本学科・各コースでは、このような人材養成の基盤となる、以下の能力・態度を有する者を求めます。

海洋生物生産学コース

知識・技能

1. 海洋の生物生産に関する専門的な知識を修得するために必要となる生物学・化学に関する基礎的知識を有する。
2. 言語や数式を使って、自らの思考を適切に表現する基礎が身についている。

思考力・判断力・表現力

1. 海洋の生物生産に関する問題について、科学的・合理的思考で分析しながら、実際に行動し解決する素養がある。

主体性・多様性・協働性（※主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）

1. 海洋の生物生産に関する学問や研究に高い関心を示し主体的に学ぶことができる。
2. 水産学的視点を持ちながら異分野を含む多様な人々と協調・協働できる。

関心・意欲

1. 「海洋の生物資源」及び「海洋の資源管理」に関心を持ち、それらを利用して水産学的視点から地域社会及び国際社会に役立つ研究・開発を行う意欲がある。
2. 海洋の生物生産に関する専門的な知識を修得することや、それらの知識を利用しながら水産学的視点から地域社会及び国際社会に役立つ研究・開発を行う意欲がある。

海底資源環境学コース

知識・技能

1. 海底資源環境に関する専門的な知識を修得するために必要となる高等学校の教科、特に理科に関する基礎的な知識を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 海底資源環境に関するさまざまな問題について、科学的思考から総合的に判断し、行動、解決する素養がある。
2. 言語や数式を使って、自らの思考を適切に表現する基礎が身についている。

主体性・多様性・協働性（※主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）

1. 海底資源に関する専門的な知識を修得することや、それらを基にした研究や開発について主体的に学ぶことができる。
2. 海底資源学・資源応用学的視点を持ちながら異分野を含む多様な人々と協調・協働できる。

関心・意欲

1. 「海底資源」及び「海洋資源管理」に関心を持ち、海底資源学・資源応用学的視点から地域社会及び国際社会に役立つ研究や開発を行う意欲がある。

海洋生命科学コース

知識・技能

1. 海洋フィールドでの生命現象、海洋生物由来の有用物質や海洋資源管理に関する専門的な知識を修得するために必要となる基礎的知識を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 海洋フィールドで見られる生命現象、海洋生物由来の有用物質や海洋資源の管理について、「化学」あるいは「生物学」の視点から観察し考察するための基礎的な思考力と判断力を有する。
2. 言語や数式を使って、自らの思考を適切に表現する基礎が身についている。

主体性・多様性・協働性（※主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）

1. 海洋生命現象や海洋生物由来の有用物質に関係する知識及び最新成果について、主体的に学ぶことができる。
2. 異分野を含むさまざまな人々と、海洋生命科学に関連した意見交換を行い協働することができる。

関心・意欲

1. 海洋生命現象や海洋生物由来の有用物質に関心を持ち、生物学ならびに化学的視点から地域社会及び国際社会に役立つ研究・開発を行う意欲がある。